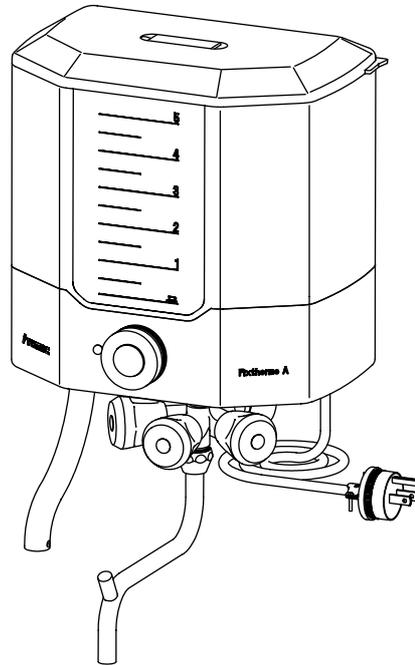


# 工事要領・取扱説明書

製品名：小型電気湯沸器

型 式：FT-A



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。  
設置工事（試運転）後は必ず本書をご使用になる方にお渡しください。  
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。  
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、  
弊社は一切責任を負いません。）

株式会社 **日本イトミック**

〒130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル

TEL:03 (3621) 2121 (大代表) FAX:03 (3621) 2130

フロント課（修理依頼承り先）

TEL:03 (3621) 2161(代表) FAX:03 (3621) 2163

# もくじ

<b>共通項目</b> .....	<b>2</b>
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>3</b>
<b>FT-Aについて</b> .....	<b>5</b>
各部名称 .....	5
仕様 .....	5
<b>工所要領</b> .....	<b>6</b>
<b>施工前にご確認ください</b> .....	<b>7</b>
1. 部品の確認 .....	7
2. 設置場所の確認 .....	8
<b>施工する</b> .....	<b>9</b>
1. 設置工事 .....	9
2. 水量の調整 .....	12
3. 電気工事 .....	12
4. 施工後の確認 .....	12
<b>試運転を行う</b> .....	<b>13</b>
1. 湯槽の清掃 .....	13
2. 試運転を行う .....	14
3. 試運転後の確認 .....	16
<b>取扱説明</b> .....	<b>18</b>
<b>使用方法</b> .....	<b>19</b>
1. 使用前の準備と確認 .....	19
2. 運転する .....	20
3. 熱湯、水、混合湯を出す .....	22
<b>長期間使用しないときは(排水の方法)</b> .....	<b>24</b>
<b>お手入れの方法</b> .....	<b>25</b>
保守点検項目と実施の目安 .....	25
覗き窓の清掃 .....	26
外装のお手入れ .....	26
<b>こんなときは</b> .....	<b>27</b>
<b>アフターサービス</b> .....	<b>28</b>
消耗品について .....	28
補修用性能部品について .....	28
修理をご依頼の際には .....	28

# 共通項目

## 安全上のご注意

本書には、お客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡してください。

### 警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



△の記号は、注意(警告を含む)を払う必要のある事項を示しています。  
△の中に具体的な注意内容が描かれています。  
(左図の場合は『高温注意』という意味です。)



⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。  
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。  
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。  
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。  
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

### 重要事項：必ずお守りください

 <b>警告</b>	
	<b>アース(D種接地) 工事をご確認ください。</b> アース工事がされないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
	<b>電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。</b> 火災の原因となります。
	<b>必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作をご確認ください。</b> 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	<b>絶対に改造はしないでください。</b> 火災、感電、やけどやケガの原因となります。
	<b>屋外に設置しないでください。</b> 感電や故障の原因となります。
	<b>設置時および清掃時以外は上蓋を開けないでください。</b> やけどのおそれがあります。
	<b>本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。</b> 発火のおそれがあります。
	<b>湿気が多い場所や浴室には設置、使用しないでください。</b> 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

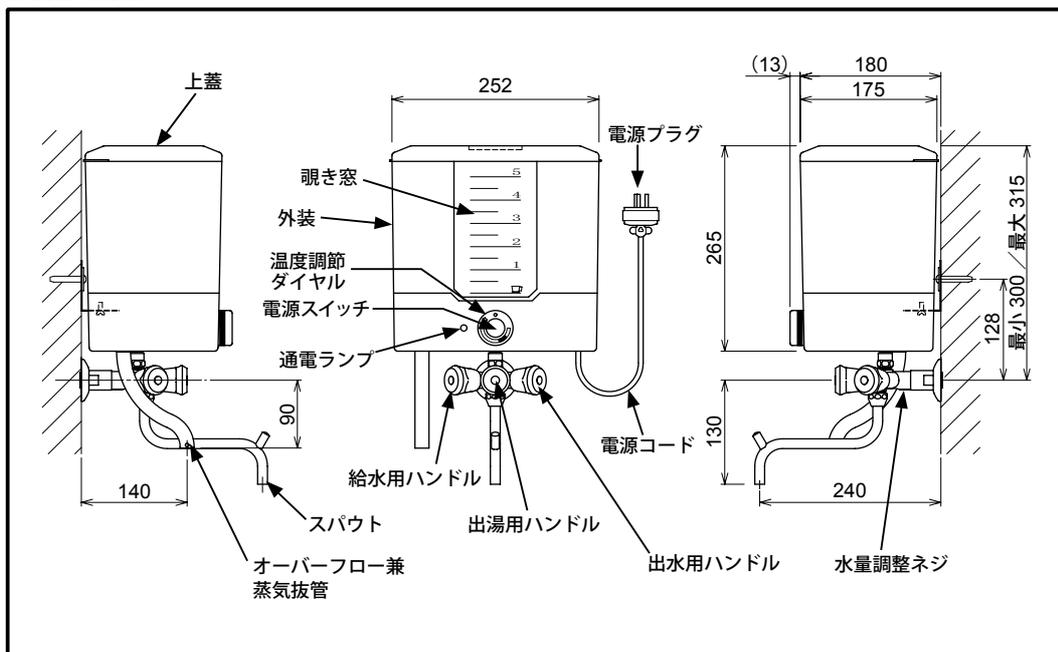
<b>⚠警告</b>	
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	運転中は高温になっていますので、本体、スパウト、オーバーフロー管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

<b>⚠注意</b>	
	湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	給湯温度が60℃以下の場合は、飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	湯沸器の運転質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。 故障の原因となります。
	湯槽に給水してから通電してください。 故障の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 湯槽や配管が破損してやけどをするおそれがあります。
長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 凍結して湯槽が破損したり水質が悪化するおそれがあります。	

## FT-Aについて

イトミックのFT-Aは、最大5 $\frac{1}{2}$ リットルの水を約35～99℃に沸かし上げる壁掛型貯湯式電気湯沸器です。  
(手動給水タイプ)

### 各部名称



### 仕様

項目	型式	FT-A
貯湯量		0.3～5 $\frac{1}{2}$ リットル
運転質量		8kg
標準電源		単相 100V
電流値		10A
ヒーター容量		1kW
電源コード長		0.5m
電源プラグ		WF7002 (125V 15A 2P)
対応コンセント		㊤ WF3002EK、WK3001W (パナソニック電工品番)
温度設定		約35～99℃ (手動設定)
温度制御		バイメタル式
給水圧力		0.1～0.5MPa
給水温度		0 (但し凍結しないこと)～40℃以下
周囲温度		0 (但し凍結のないこと)～40℃
湿度		10～60 (但し結露のないこと) %以下
安全装置		過昇温検出
使用水質		水道水
設置場所		屋内

※沸き上がり時間の目安はP.16を参照してください。

# 工事要領

正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

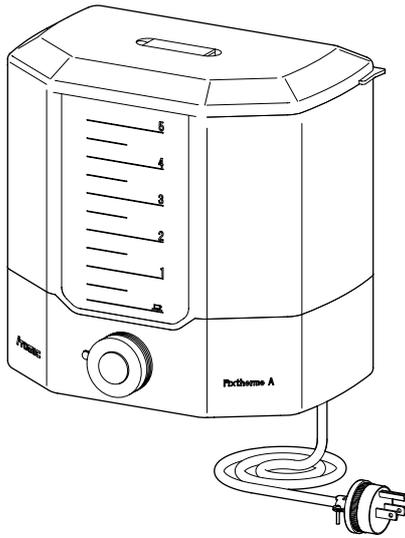
施工前にご確認ください

# 施工前にご確認ください

## 1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

FT-A 本体



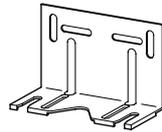
付属品



工事要領、取扱説明書×1  
(この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)



取付位置決め型紙×1



壁面取付金具×1



カールプラグ×2



木ネジ×2



パッキン×1



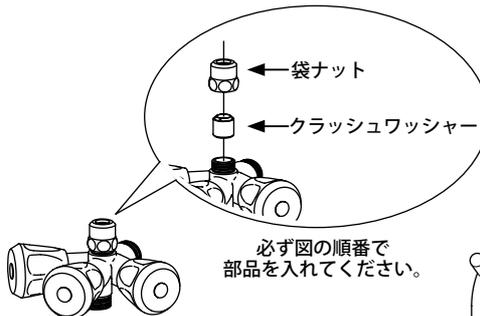
給水管×1



送り座×1

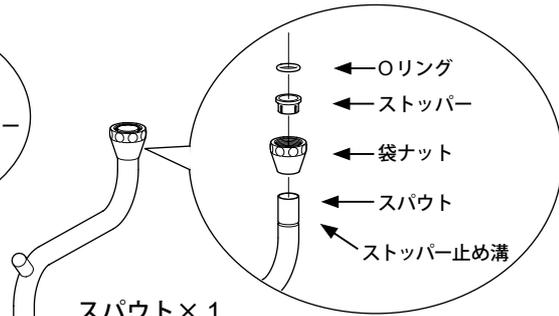


オーバーフロー兼  
蒸気抜き管×1



必ず図の順番で  
部品を入れてください。

混合栓金具×1



必ず図の順番で  
部品を入れてください。

スパウト×1

【お客様にてご手配ください】

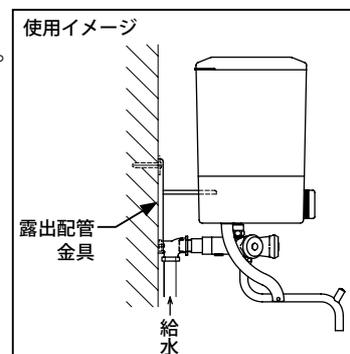
**お客様手配品**

- ①止水栓 …… 排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
- ②漏電ブレーカ …… 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
- ③シールテープ …… 配管接続部分から漏水させないために必要です。
- ④ストレーナー …… 湯沸器内へのゴミの流入を防止します。

上記は必ずお客様にてご用意ください。

**関連商品** (弊社にてお求めいただけます。)

- ⑤露出配管用金具 …… 露出配管の現場にFT-Aを取り付ける際にお求めください。



**2. 設置場所の確認**

**チェックリスト**

項目	チェック内容	チェック
凍結対策	冬季にも凍結しない場所ですか？ 冬季に凍結する場所の場合、保温工事が必要になります。	<input type="checkbox"/>
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	<input type="checkbox"/>
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	<input type="checkbox"/>
	運転質量の8kgに耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	<input type="checkbox"/>

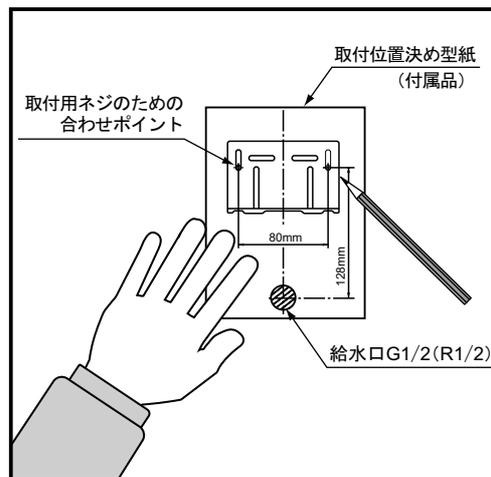
## 施工する

### 1. 設置工事

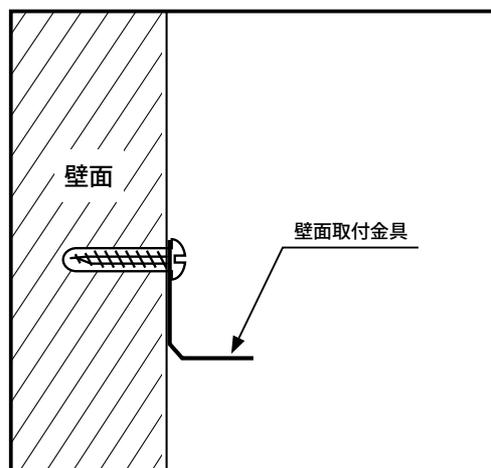
<b>⚠ 警告</b>	
⊘	屋外に設置しないでください。 感電や故障の原因となります。
⊘	設置時および清掃時以外は上蓋を開けないでください。 やけどのおそれがあります。
⊘	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

<b>⚠ 注意</b>	
!	湯沸器の運転質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。 故障の原因となります。
!	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

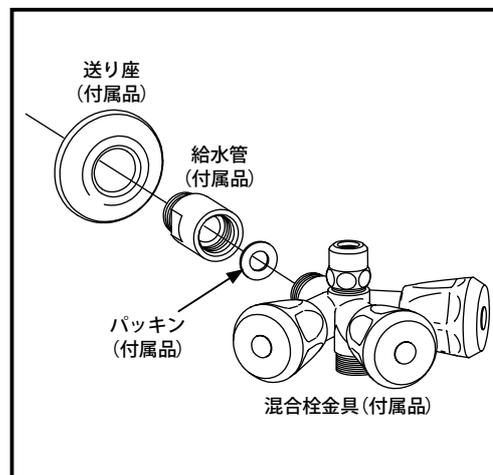
- ① 付属品の取付壁面の給水口と型紙の給水口位置とを合わせ、FT-Aの取付位置に印をつけます。(位置は適宜調整してください。)



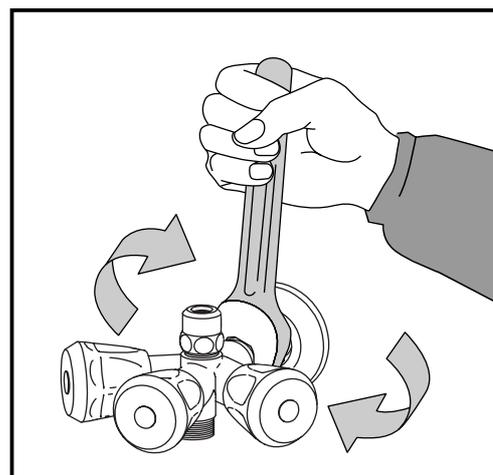
- ② 印をつけた位置に下穴を開け、壁面取付金具を付属品のカールプラグと取付ネジを使用してしっかり固定してください。



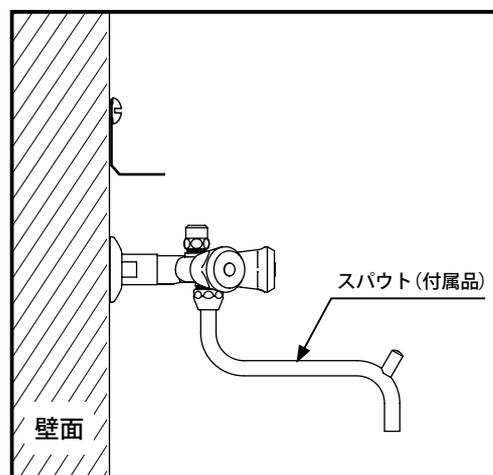
- ③パッキン(付属品)を給水管(付属品)に入れ、混合栓金具(付属品)を取り付けてください。



- ④送り座(付属品)と一緒に壁面の給水口にスパナ等を使用してしっかりと取り付けます。



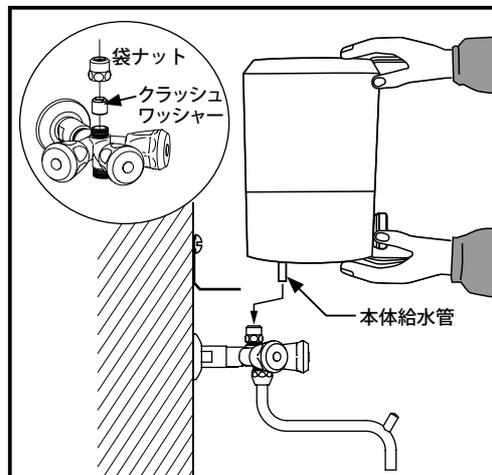
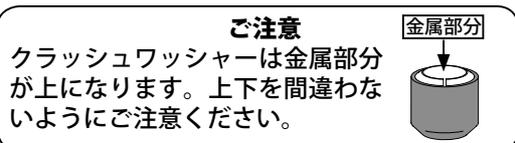
- ⑤混合栓金具に付属品のスパウトを取り付けてください。



## 工事要領

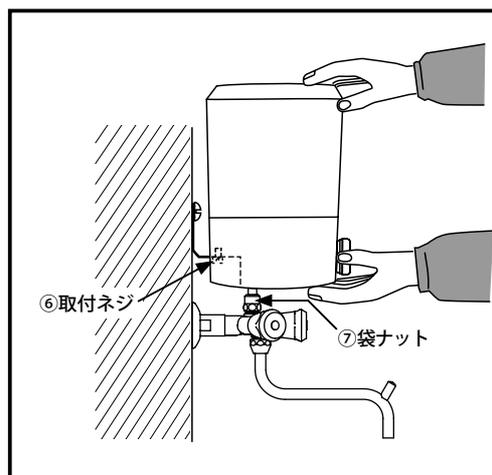
### 施工する

- ⑤ 混合栓金具の上部配管接続部にクラッシュワッシャーと袋ナットが入っていることを確認した後、袋ナットをゆるめて本体の給水管を混合栓ネジ部に差し込んでください。

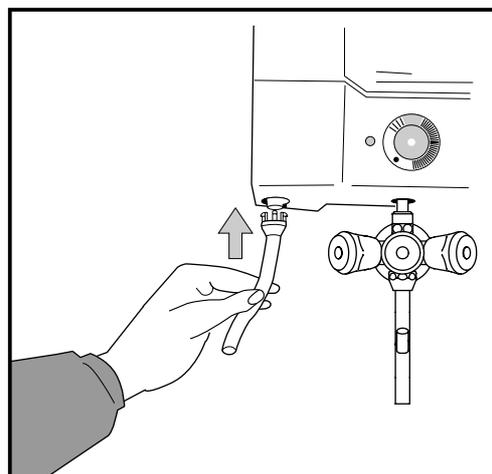


- ⑥ 壁面取付金具が本体底部のへコミ部分にはまっていることを確認し、本体についている取付ネジを使用して本体が壁面に対し平行になる位置で固定してください。

- ⑦ 袋ナットを漏水が起きない程度に締めてください。

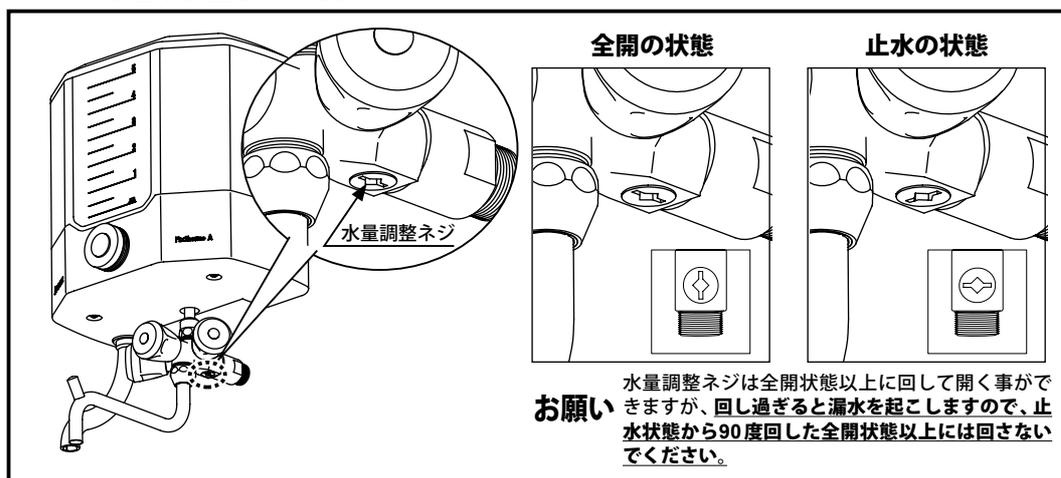


- ⑧ オーバーフロー管を差し込んで取り付けてください。



## 2. 水量の調整

マイナスドライバーや六角レンチで混合水栓金具下部にある水量調整ネジを操作して、湯沸器に入る水量を調整してください。



## 3. 電気工事

⚠ 警告	
⚡	アース (D種接地) 工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
!	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
!	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
🚫	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけどやケガの原因となります。
🚫	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。

電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

## 4. 施工後の確認

### チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置工事	湯沸器にがたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>
	給水管や混合水栓金具等の接続部分にゆるみはありませんか？	<input type="checkbox"/>
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	<input type="checkbox"/>
	D種接地工事は正しく行われていますか？	<input type="checkbox"/>

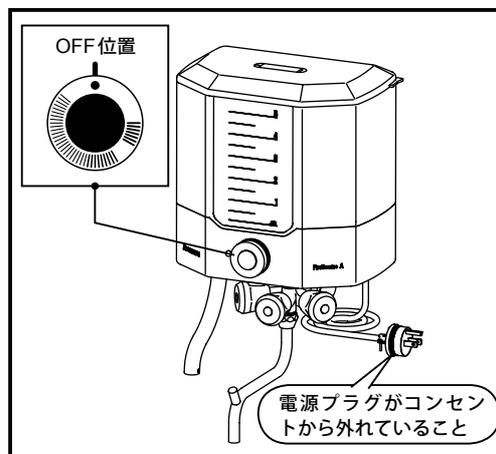
## 試運転を行う

<b>⚠ 警告</b>	
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。

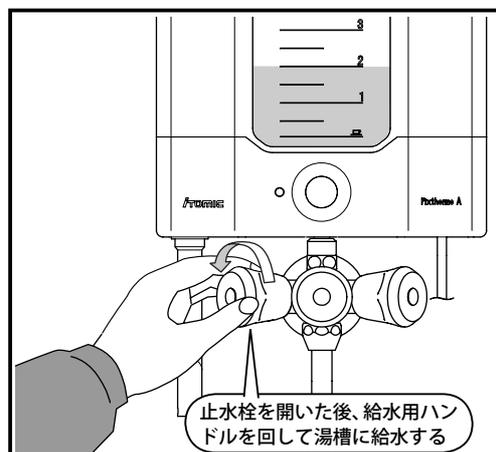
<b>⚠ 注意</b>	
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	湯槽に給水してから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因となります。

### 1. 湯槽の清掃

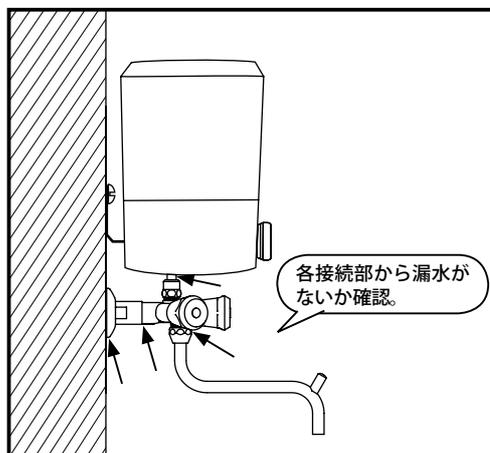
- ① 温度調節ダイヤルがOFF位置にあること、電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。



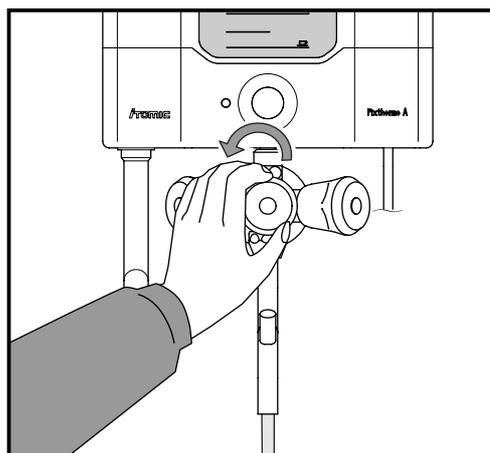
- ② 止水栓を開いた後、給水用ハンドルを開いて湯槽内一杯に水を入れてください。(水量は製品正面の覗き窓についている目盛で確認することができます。)



- ③各接続部から漏水がないことを確認してください。

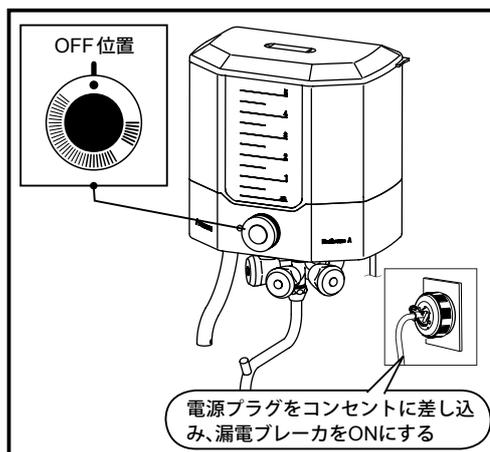


- ④出湯用ハンドルを開いて湯槽内の水を全て排水してください。



## 2. 試運転を行う

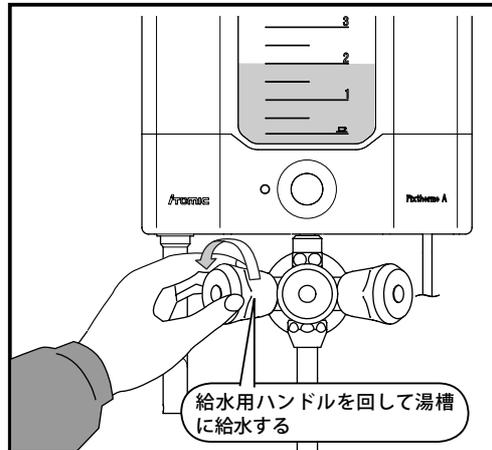
- ①温度調節ダイヤルがOFF位置にあることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込み、一次側の漏電ブレーカをONにします。



## 工事要領

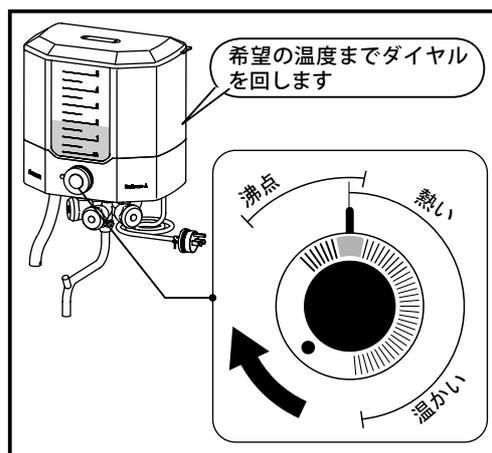
### 試運転を行う

- ② 止水栓を開いた後、給水用ハンドルを回して0.3リットル～5リットルの範囲で湯槽に給水します。水量は覗き窓の目盛で確認することができます。5リットル以上給水した場合、オーバーフロー管から水が排水されます。



- ③ 温度調節ダイヤルを回して湯温を設定してください。

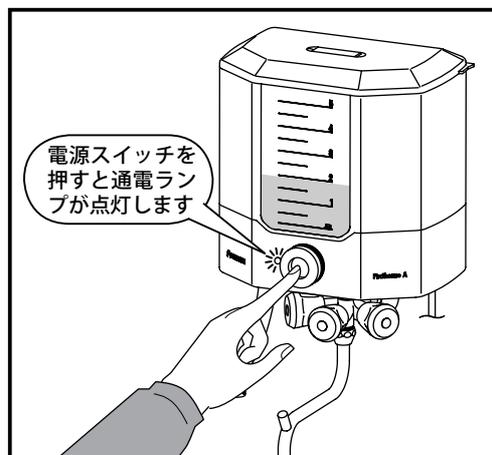
**ご注意：沸点位置での沸かし上げについて**  
温度調節ダイヤルを沸点の位置で運転した場合は、湯槽内の水が沸き上がる際にオーバーフロー管から数秒間蒸気が吹き出しますので、やけどにご注意ください。



- ④ 電源スイッチを押して、加熱を開始してください。ダイヤル横の通電ランプが点灯します。設定温度に沸き上がると通電ランプが消灯してヒーターへの通電が自動的に終了します。(→ P.16 『沸き上がり時間の目安』参照)

お湯が冷めてしまった場合は再度電源スイッチを押してください。

**ご注意：保温、加熱、再加熱について**  
温度調節ダイヤルを回しただけでは加熱を開始しません。電源スイッチを押すことで加熱を開始します。(FT-Aには保温の機能はありません。)また、**再加熱は自動では行いませんので、沸かし上げの都度電源スイッチを押して加熱を行ってください。**

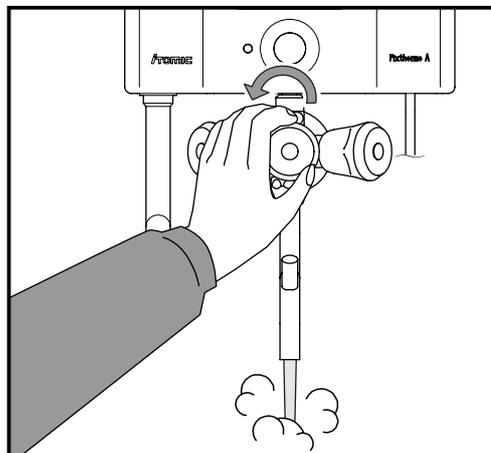


運転を終了した場合や沸かし上げを途中でキャンセルしたい場合は、温度調節ダイヤルを左に回して電源 OFF 位置に合わせてください。



- ⑤沸き上がった後、出湯用ハンドルを開いてスパウトからお湯が出れば正常です。

**警告** 確認の際には熱湯 オーバーフロー管から排出される湯気等にご注意ください。やけどの危険があります。



### 沸き上がり時間の目安

項目 型番	定格電圧	湯槽内の 水量 (L)	標準ヒーター 容量 (kW)	沸き上がり時間 <sup>※1</sup>			使用範囲の 目安 (人) <sup>※2</sup>
				給水温			
				5℃	15℃	25℃	
FT-A	単相 100V	0.3	1.0	2分	2分	2分	約 4
		1		7分	6分	6分	// 12
		2		14分	12分	11分	// 24
		3		20分	18分	16分	// 35
		4		27分	24分	21分	// 47
		5		33分	30分	26分	// 59

※1: 沸き上がり時間の算出: 沸き上がり温度 99℃の場合。

※2: 使用範囲の目安: 飲用可能温度を80℃とし、100cc/杯として算出。(給水温 15℃の場合)

## 3. 試運転後の確認

### チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
漏水	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>
電圧	定格電圧±10%以内ですか？	<input type="checkbox"/>
ヒーター絶縁抵抗	1MΩ以上ありますか？	<input type="checkbox"/>
ストレーナー	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？	<input type="checkbox"/>
給湯	出湯用ハンドルを開くとお湯が出ますか？	<input type="checkbox"/>

以上で施工終了です。

## 工事要領

---

MEMO

# 取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

## 使用方法

<b>⚠ 警告</b>	
	設置時および清掃時以外は上蓋を開けないでください。 やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	運転中は高温になっていますので、本体、スパウト、オーバーフロー管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

<b>⚠ 注意</b>	
	湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	給湯温度が60℃以下の場合は、飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	湯槽に給水してから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因となります。
	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 凍結して湯槽が破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

### 1. 使用前の準備と確認

ご使用前に次の事をご確認ください。

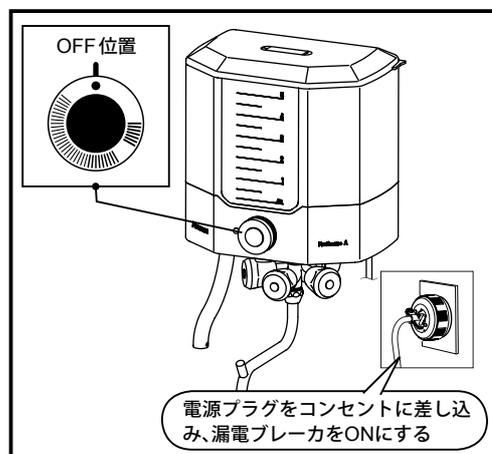
#### チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	<input type="checkbox"/>
	本体の上には物などを載せていませんか？	<input type="checkbox"/>

## 2. 運転する

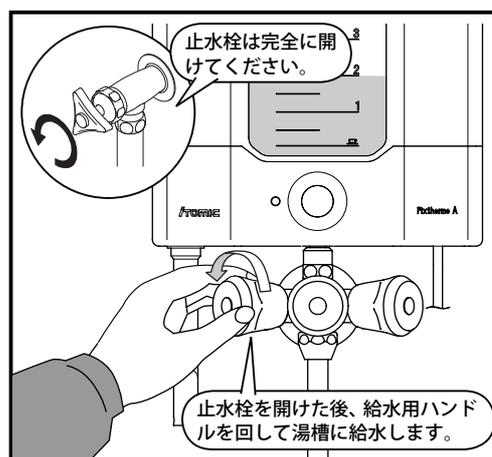
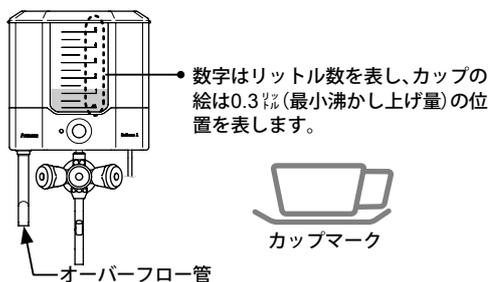
<b>⚠ 警告</b>	
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
<b>⚠ 注意</b>	
	湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	湯槽に給水してから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因となります。

- ① 温度調節ダイヤルがOFF位置にあることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込み、一次側の漏電ブレーカをONにします。

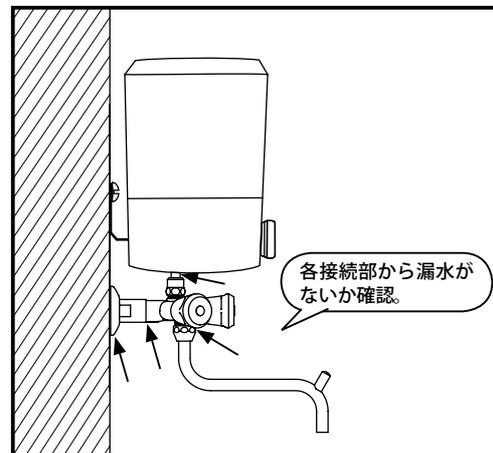


- ② 止水栓を開いた後、給水用ハンドルを回して0.3ℓ～5ℓの範囲で湯槽に給水します。

水量は覗き窓の目盛で確認することができます。5ℓ以上給水した場合、オーバーフロー管から水が排水されます。

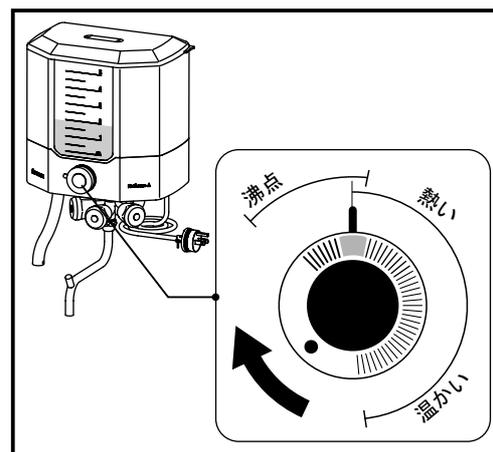


- ③湯沸器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。



- ④温度調節ダイヤルを回して湯温を設定してください。

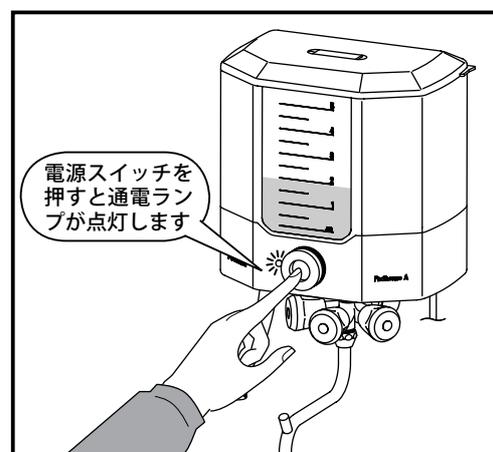
**ご注意：沸点位置での沸かし上げについて**  
 温度調節ダイヤルを沸点の位置で運転した場合は、湯槽内の水が沸き上がる際にオーバーフロー管から数秒間蒸気が吹き出しますので、やけどにご注意ください。



- ⑤電源スイッチを押して、加熱を開始してください。ダイヤル横の通電ランプが点灯します。設定温度に沸き上がると通電ランプが消灯してヒーターへの通電が自動的に終了します。(→ P.16『沸き上がり時間の目安』参照)

お湯が冷めてしまった場合は再度電源スイッチを押してください。

**ご注意：保温、加熱、再加熱について**  
 温度調節ダイヤルを回しただけでは加熱を開始しません。電源スイッチを押すことで加熱を開始します。(FT-Aには保温の機能はありません。)また、再加熱は自動では行いませんので、沸かし上げの都度電源スイッチを押して加熱を行ってください。



運転を終了した場合や沸かし上げを途中でキャンセルしたい場合は、温度調節ダイヤルを左に回して電源 OFF 位置に合わせてください。



### 3. 熱湯、水、混合湯を出す

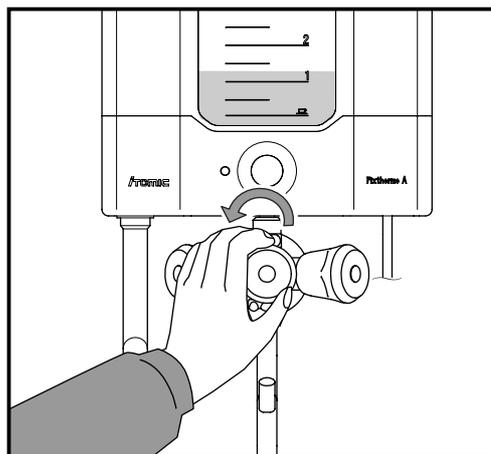
<b>⚠警告</b>	
	設置時および清掃時以外は上蓋を開けないでください。 やけどのおそれがあります。
	運転中は高温になっていますので、本体、スパウト、オーバーフロー管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

<b>⚠注意</b>	
	給湯温度が60℃以下の場合は、飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。

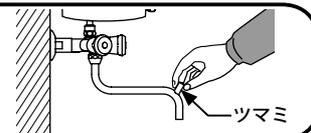
#### 熱湯を出す

- ① 設定温度に沸き上がった後、出湯用ハンドルを開いてスパウトから出湯します。(→P.16『沸き上がり時間の目安』参照)

**⚠警告** 熱湯、オーバーフロー管から排出される湯気等にご注意ください。  
やけどの危険があります。

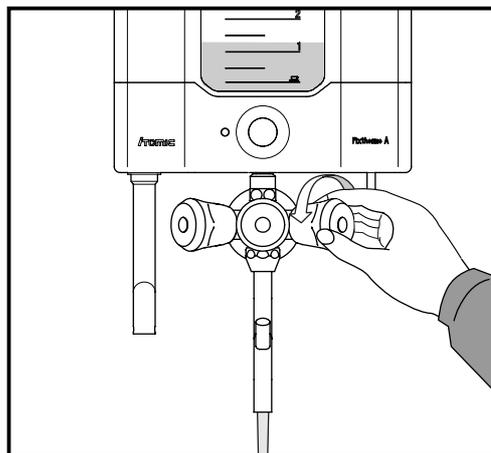


スパウトは高温になる場合がありますので、ツマミを持って向きを変えてください。



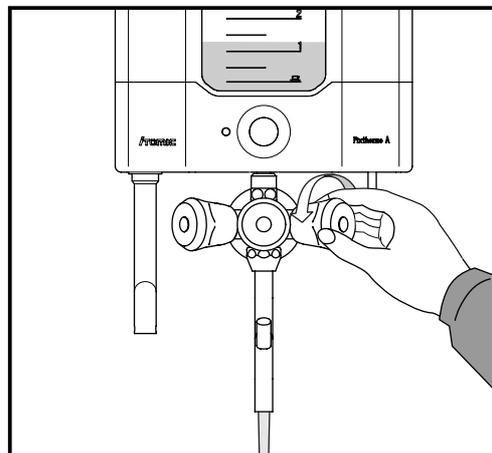
#### 水を出す

- ① 出水用ハンドルを開いてスパウトから出水します。

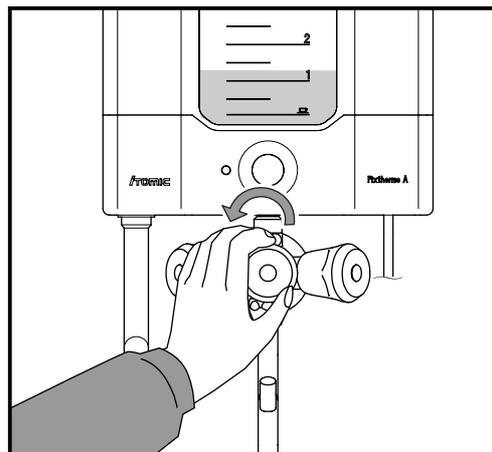


### 混合湯を出す

- ① 出水用ハンドルを開いてスパウトから出水します。



- ② 出湯用ハンドルを開いて、湯温を調整してください。



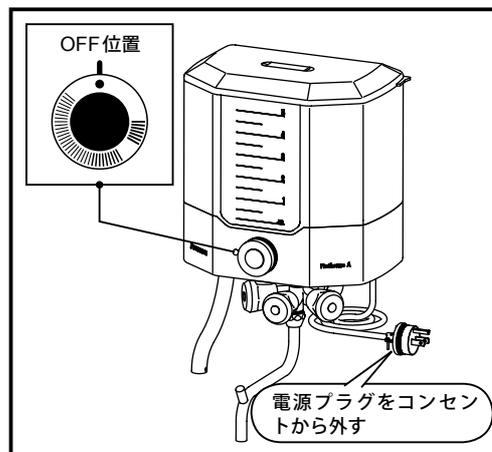
## 長期間使用しないときは(排水の方法)

<b>⚠警告</b>	
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	運転中は高温になっていますので、本体、スパウト、オーバーフロー管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

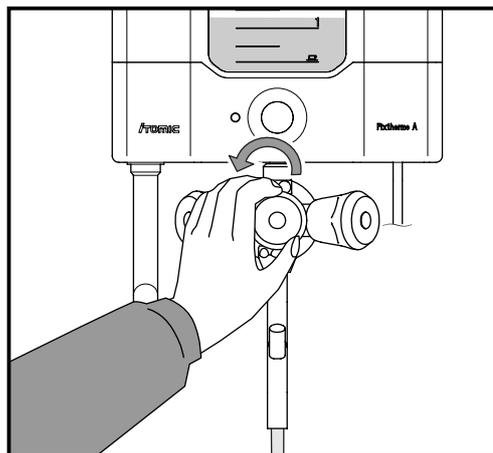
<b>⚠注意</b>	
	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 凍結して湯槽が破損したり水質が悪化するおそれがあります。

長期間湯沸器をご使用にならない場合には、下記の手順に沿って湯槽内のお湯を抜いてください。

- ① 温度調節ダイヤルをOFF位置にし、電源プラグをコンセントから外してください。



- ② 湯槽内の湯が冷えた状態を確認して、出湯用ハンドルを開いてスパウトから排水します。



## お手入れの方法

 <b>警告</b>	
	設置時および清掃時以外は上蓋を開けないでください。 やけどのおそれがあります。
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	運転中は高温になっていますので、本体、スパウト、オーバーフロー管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

 <b>注意</b>	
	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 凍結して湯槽が破損したり水質が悪化するおそれがあります。

## 保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検、作業内容	点検の目安
<b>管理技術者の方のみ</b> 電圧の測定	定格電圧の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はヒーター断線の原因となります。また、低電圧の場合は能力が低下します。	1回/月
<b>管理技術者の方のみ</b> 電流値の測定	定格電流の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
<b>管理技術者の方のみ</b> ヒーター絶縁抵抗測定	絶縁抵抗計(500Vメガー)にて測定、1MΩ以上あることを確認してください。	
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	
コードおよびプラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側の漏電ブレーカをOFFにし、コンセントの周りやプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回/年
湯槽内部の清掃	P.12を参照し、混合水栓金具底部の水量調整ネジを六角レンチもしくはドライバー等で開閉して湯アカを落とした後P.24を参照し、貯水と排水を数回繰り返して清掃してください。	

注) 長期間で使用にならない場合は凍結による湯槽の破損や水質変化防止のため、P.24『長期間使用しないときは(排水の方法)』をご参照の上、湯槽内の湯を排水してください。

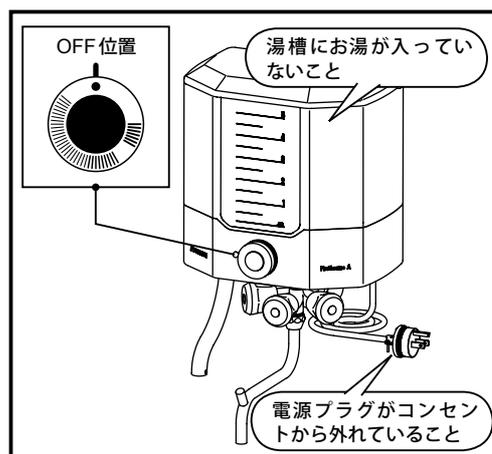
## 覗き窓の清掃

### ⚠警告

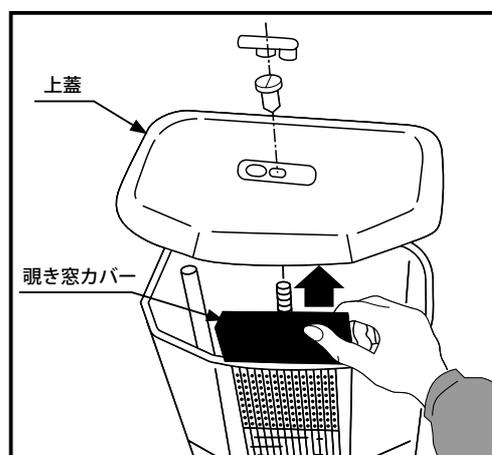


設置時および清掃時以外は上蓋を開けないでください。  
やけどのおそれがあります。

- ①温度調節ダイヤルがOFF位置にあること、電源プラグがコンセントから外れていること、湯槽内にお湯が入っていないことを確認してください。

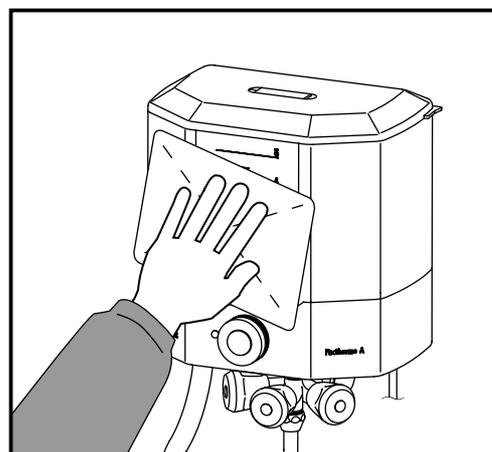


- ②本体上部のカバーとネジを外して上蓋を取り外し、内部から覗き窓カバーを取り出してください。
- ③スポンジなどを使用して覗き窓を清掃してください。(薬品やクレンザーなどは使用しないでください。)
- ④取り外しと逆の手順で覗き窓カバーを取り付けてください。



## 外装のお手入れ

温度調節ダイヤルをOFF位置にして本体が冷めたのを確認してから、水に浸して固く絞った布で拭いてください。汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



## こんなときは

湯沸器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	湯槽に水が入っていることを確認し、電源スイッチを押すと通電ランプは点灯しますか？	ヒーター断線、もしくは過昇温防止装置が働いている可能性があります。使用を中止し、その旨を裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	電圧が高くありませんか？	200Vで使用することは出来ません。故障の場合は裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	ヒーターの故障ではありませんか？	ヒーターの導通を測ってください。故障の場合は裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
温度設定を行って電源スイッチを押しても通電ランプが点灯しない。	湯槽内の湯が設定温度に沸き上がっていませんか？	設定湯温を上げるか湯槽内の湯温が下がるまでお待ちください。FT-Aは湯槽内の湯が設定温度に沸き上がっている場合は動作しません。
湯温が低いまたは沸き上がり時間が長すぎる	湯を使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。従って沸き上がり時間もかかります。→P.16『沸き上がり時間の目安』参照。
	設定温度が低くありませんか？	設定温度を上げてください。
給水用ハンドルを開いても湯槽内に給水されない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。
	水量調整ネジは開いていますか？	P.12を参照し、水量調整ネジを開いてください。ネジを開いても正しく給水されない場合は、ネジを数回開閉し配管内からのゴミ等を除去してください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後などで槽内に配管時の油や接着剤が残っていませんか？	設置直後などは工事の際の切削油が流入することがありますので、しばらくスパウトから水を出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？ または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。しばらくスパウトから水を出し続けてください。
漏水している	本体からですか？	直ちに使用を中止して止水栓を閉めた後、その旨を裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	配管接続部の場合は締め直してください。
スパウトやオーバーフロー管から湯水が出る	各ハンドルは完全に閉まっていますか？	緩んでいる場合は完全に締めてください。完全に閉まっているにもかかわらず、湯水が出る場合はパッキンが消耗していますので、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

## アフターサービス

### 消耗品について

下記に記載の部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)、購入のご依頼は弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
パッキン類	設置、交換日より5年	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。(※水道水中のミネラル分が固着したもの。)

### 補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

### 修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.29の故障状況シートをコピーして必要事項にご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。

型番等は本体に貼られている保証票に印刷されておりますので、故障状況シートへ転記してください。

保証票 GUARANTEE LABEL	
型番 Model	
製造番号 Serial No.	
屋内用	
電源・電力	
	最高使用圧力 MPa
株式会社 日本イトミック	

(株)日本イトミック フロント課 FAX 03-3621-2163

TEL 03-3621-2161

※もしくは裏表紙に記載の最寄り地区販売会社へご連絡ください。

## 取扱説明

### アフターサービス

故障状況シート			
貴社名		ご担当者名	
ご住所			
T E L		F A X	
製品型番	FT-A		
電源、電力		製造番号	
設置場所		保証期限	
状態			



## アドバイス&メンテナンス

# データベース管理と専門技術で安心、快適のサポート。

お買い上げいただいた機器はすべてデータベースに登録。定期点検の時期などを的確に管理し、豊富な経験と優れた技術を兼備した専門スタッフが責任をもってサポートいたします。イトミック製品を安心してお使いいただくとともに快適な温水環境をお届けするため、アドバイスとメンテナンスを心を込めて提供いたします。

### アフターサービス(最寄りのイトミック製品販売拠点へ)



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

**0570-011039**

携帯電話・PHS・IP電話の場合: **03-3621-2161**

※お電話の前に型番・製造番号をご確認ください。

### メンテナンス契約

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社フロント課までご連絡ください。また、部品のご注文もフロント課で承っています。

TEL : **03-3621-2161(代)**

FAX : **03-3621-2163**

**24時間サービス体制**

夜間専用電話 : 東京 **03-3621-2161**

● ISO9001 認証取得 ● 経済産業省電気用品製造事業届出工場 ● 日本水道協会検査委託登録工場 ● 日本電気工業会正会員 ● 日本ボイラ協会会員 ● 建設業許可

## 株式会社 **イトミック**

### 営業本部

〒130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル  
TEL 03(3621)2121(大代表) FAX 03(3621)2130

### フロント課(保守、部品、修理)

TEL 03(3621)2161(代表) FAX 03(3621)2163

### 本社工場

〒143-0002 東京都大田区城南島 4-6-8  
TEL 03(3799)7311(代表) FAX 03(3799)7310

ホームページ <http://www.itomic.co.jp/>

### 《地区販売会社、営業所》

北海道地区	●(株)北海道イトミック	: 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条5-1(ラポール24軒2号館)	TEL 011(615)6681(代)	FAX 011(615)7004
東北、新潟地区	●(株)東北イトミック	: 〒981-3125 仙台市泉区みずほ台4-3	TEL 022(773)6161(代)	FAX 022(773)6213
中部、北陸地区	●(株)中部イトミック	: 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-4-12(アレックスビル3F)	TEL 052(222)2561(代)	FAX 052(222)2559
近畿地区	●関西イトミック(株)	: 〒541-0041 大阪市中央区北浜3-7-12(東京建物大阪ビル)	TEL 06(6226)0800(代)	FAX 06(6226)0802
中国、四国地区	●(株)中国イトミック	: 〒730-0051 広島市中区大手町1-7-12(徳永ビル)	TEL 082(240)1361(代)	FAX 082(240)1363
九州、沖縄地区	●(株)九州イトミック	: 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-28-5	TEL 092(481)3911(代)	FAX 092(481)3930



この印刷物は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

10.02-5-1-0.5 ①